

■ 会社情報 (2017年9月30日現在)

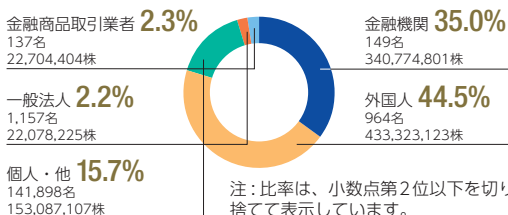
商号 株式会社 小松製作所 (呼称: コマツ)
 本社 〒107-8414
 東京都港区赤坂二丁目3番6号
 設立年月日 1921年(大正10年)5月13日

■ 株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行済株式総数 971,967,660株

株主数 144,305名

株主構成



■ 株式関連情報

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の
 口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1

株主名簿管理人および特別
 口座の口座管理機関の事
 務拠点移転に伴い2017年
 8月14日付にて右記の通
 り変更しております。

電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続きについて

証券会社などに口座を開設されている株主さま ▼

お取引口座のある証券会社などにお問い合わせください。

*郵送物の発送と返戻、取扱期間経過後の配当金に関するご照会は、三菱UFJ信託銀行で承ります。

特別口座に登録されている株主さま ▼

三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。(連絡先上記)

見直しに関する注記事項

この中間報告書に記載されている将来の業績に関する予想、計画および見直しなどは、現在入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、計画および見直しとは大きく異なることがあり得ますことをご承知ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況の変動、製品需要の変動、為替相場の変動および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変動などが含まれます。

株式会社小松製作所(コマツ) コーポレートコミュニケーション部 広報グループ:
 Tel: 03-5561-2616 Fax: 03-3505-9662

株主の皆さまへ

第149期中間報告書 2017年4月1日~2017年9月30日

ごあいさつ	1
連結業績	2
部門別の概況	3
株主さまを対象とした見学会のご案内	9
会社情報	11



ごあいさつ



コマツ取締役会メンバー

(後列左から) 黒本 和憲、藪中 三十二、奥 正之、木川 眞、森 正尚
(前列左から) 野路 國夫、大橋 徹二、藤塚 主夫

株主の皆さまには、日頃よりご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

当中間期(2017年4月1日から2017年9月30日まで)の業績は、建設機械・車両部門において、中国やインドネシアをはじめ多くの地域で需要を着実に取り込んだことに加え、米国の大手鉱山機械メーカーであるジョイ・グローバル社(新社名「コマツマイニング(株)」)の新規連結効果もあり、連結売上高は1兆1,589億円(前年同期比45.6%増)、営業利益は1,126億円(同75.6%増)となりました。

下期も引き続き、建設・鉱山機械の需要が堅調に推移することが見込まれ、為替レートも各通貨に対し円安傾向で推移する想定であることから、今般、2017年度通期業績見通しを上方修正いたしました。

コマツの経営の基本は、「品質と信頼性」を追求し、企業価値を最大化することにあります。全社員が「コマツウェイ」を共有し、環境・社会・コーポレートガバナンスについてこれまで以上に強く意識しながら、業績の向上、企業体質の更なる改善および社会的使命の達成をバランス良く実現してまいります。

株主の皆さまには、引き続き変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年11月

野路 國夫 大橋 徹二

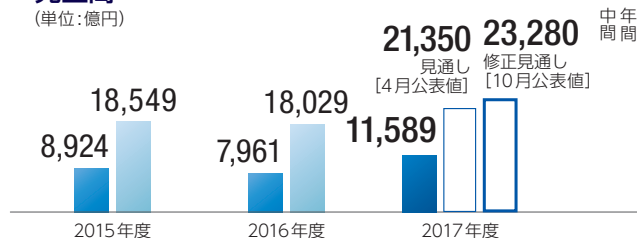
取締役会長
野路 國夫

代表取締役社長
大橋 徹二

連結業績 [コマツマイニング(株)の業績を含む(注)]

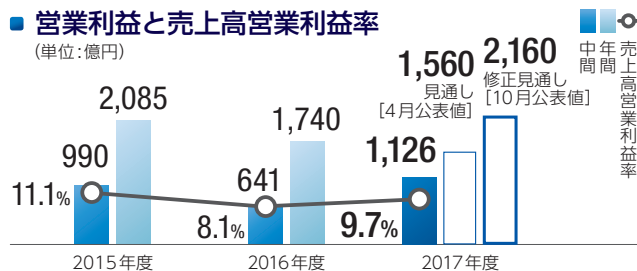
■ 売上高

(単位:億円)



■ 営業利益と売上高営業利益率

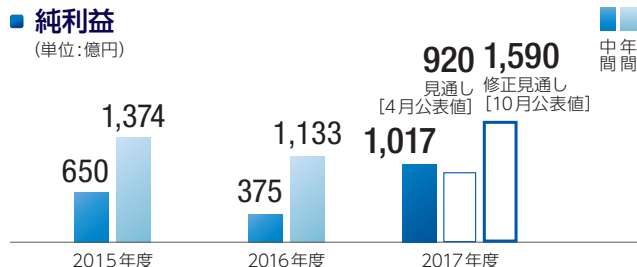
(単位:億円)



* 2017年度通期の売上高営業利益率(見通し):(10月公表値)9.3% ← (4月公表値)7.3%

■ 純利益

(単位:億円)

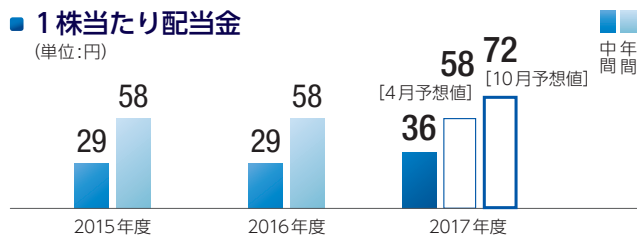


(注) 2017年4月の買収完了に伴い、2017年度第1四半期の決算数値よりコマツマイニング(株)の業績を含めています。

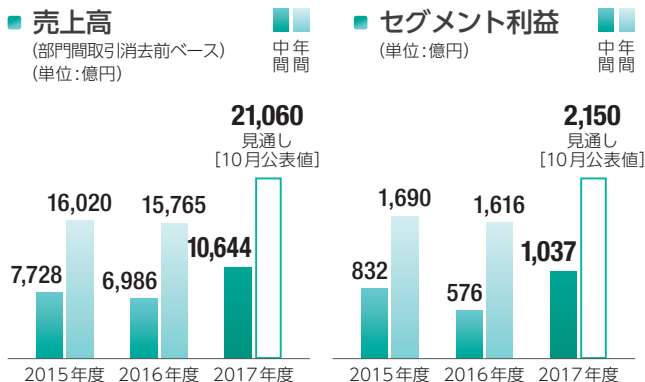
配当金

■ 1株当たり配当金

(単位:円)



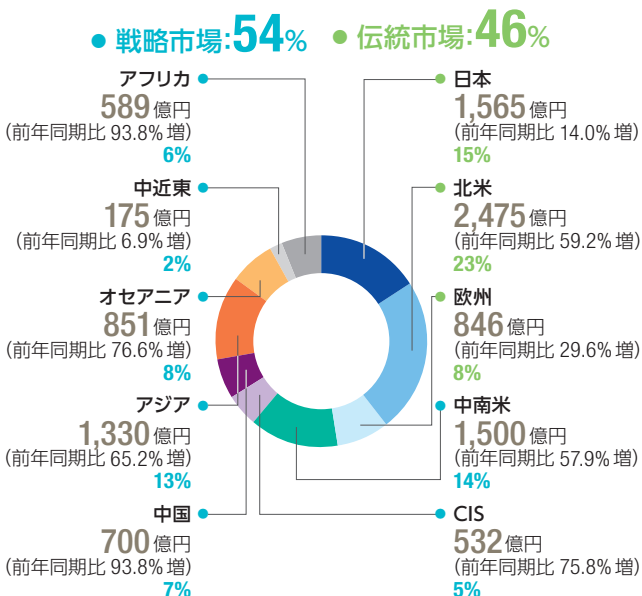
建設機械・車両部門



売上高は、1兆644億円(前年同期比52.4%増)、セグメント利益は1,037億円(前年同期比80.1%増)となりました。中国やインドネシアをはじめ多くの地域で需要を着実に取り込んだことに加え、本年4月に買収を完了した米国の大手鉱山機械メーカーであるコマツマイニング(株)の新規連結の効果もあり、売上は前年同期を大幅に上回りました。

地域別売上構成比

(外部顧客向け売上高:2017年9月30日に終了した6カ月間)



コマツマイニング(株)の統合を推進

2017年4月に買収し、商号変更した米国の鉱山機械会社「コマツマイニング(株)」(以下KMC)では、旧ジョイ・グローバル社製品を含むカスタマーサポート水準の維持向上を大前提に、グループ全体の経営資源を活用してシナジー(相乗効果)を発揮し、一層の成長を図る「統合」を推進します。

1. 統合の基本的な考え方

コマツとKMCの商品構成は重複せず、買収によりラインナップ拡充が実現しました。また、買収後のレビューでも、共通する企業文化や、直接販売・直接サービス体制といった、両社の高い親和性を確認しています。



KMC製の超大型ロープショベルとコマツ製のダンプトラック。

一方、鉱山機械事業は需要変動の振れ幅が大きいことから、変化に強くフレキシブルな事業体制が不可欠です。

2. 統合計画の基本方針

統合は以下3つの視点から活動を進め、シナジーによる効果目標として、2021年度に「当該年度のKMC売上高の約10%相当」を売上高として創出することを目指します。

売上の拡大

- 直接販売・直接サービスを維持しつつ、両社の顧客基盤や販路を活用
- サービス拠点やグループ内サプライヤーの共同利用
- 両社技術の組み合わせによる新商品・ICTソリューションの開発 など

コストの削減

- コマツ建機グローバル供給体制(クロスソーシング)の推進
- 共同購買や倉庫・サプライチェーンの共用
- 業務の統合・専門性の強化 など

投資の抑制

- 重複投資(地域内における類似投資)の精査と選別 など

旧ジョイ・グローバル社が推進していた経営構造改革は計画通り実施し、一部で既に効果を挙げつつあります。

また、隣接する両社の拠点同士が機動的に業務統合を図る“Quick-win”も始まっています。



“Quick-win”の例。チリではコマツの拠点において、KMC製大型鉱山機械の部品のメンテナンスを開始しました。

トピックス：建設機械・車両部門

最新排出ガス規制*1 適合の中型油圧ショベルを発売

2017年9月に発売した中型油圧ショベル「PC200/210(LC)-11」[PC228US(LC)-11]は、新たな排出ガス後処理システム*2の採用に加え、車体各ユニット制御の進化、オートアイドルストップ機能の採用により、環境性能、生産性、燃費のいずれにおいても高いレベルを達成。燃料消費量は当社従来機に比べ平均6%低減*3しました。

同時に発売したICT油圧ショベル「PC200/210(LC)i-11」は作業機の自動制御機能を更に進化させ、バケット角度保持制御、締め叩き制御などの新機能により、大幅な操作性の向上と施工時間の短縮を実現しています。



新発売の「PC200i-11」

*一部オプションが含まれています。

*1 [特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律] 2014年基準。

*2 独自のディーゼルパーティキュレートフィルタ (KDPF) と選択触媒還元 (SCR) を組み合わせ、NOxとPMを除去する新システム。

*3 当社従来機との比較 (当社テスト基準による)。実作業では作業条件により異なる場合があります。

建設生産プロセス全体をつなぐ新プラットフォーム「LANDLOG」の共同企画・運用を決定

2017年7月、コマツ、(株) NTTドコモ、SAPジャパン (株)、(株) オプティムは、建設生産プロセスに関与する建設事業者向け新ICTプラットフォーム*「LANDLOG (以下、ランドログ)」の企画・運用を4社共同で行うことを決定しました。

ランドログは建設機械による施工中心の既存プラットフォーム「KomConnect」を包含するとともに、建設生産プロセス全体のあらゆる「モノ」(土・機械・材料など)のデータを集め、建設現場を支える多くのユーザーに利用頂くことで、安全

で生産性の高い未来の現場の実現を加速します。

*プラットフォーム:情報を収集し、蓄積・解析するとともに、蓄積した情報をアプリケーション(アプリ)を介して提供する仕組み。

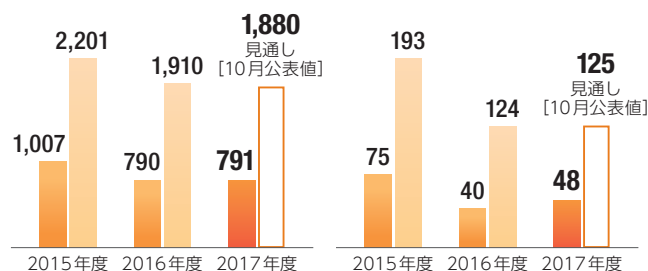
産業機械他部門

■ 売上高

(部門間取引消去前ベース)
(単位:億円)■ 中間
■ 年間

■ セグメント利益

(単位:億円)

■ 中間
■ 年間

売上高は791億円(前年同期比0.2%増)、セグメント利益は48億円(前年同期比19.2%増)となりました。ワイヤーソーの販売が減少したものの、自動車業界向けの鍛圧機械および工作機械の販売が増加したことが影響しました。

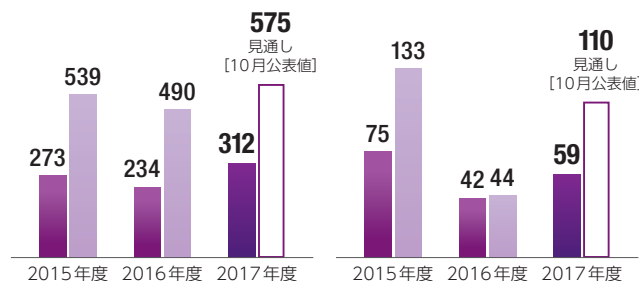
リテールファイナンス部門

■ 売上高

(部門間取引消去前ベース)
(単位:億円)■ 中間
■ 年間

■ セグメント利益

(単位:億円)

■ 中間
■ 年間

主に北米などでファイナンス契約が増えたことにより、売上高は312億円(前年同期比33.1%増)となりました。セグメント利益は、中国での引当金計上の影響がなくなったことなどに伴い、59億円(前年同期比40.2%増)となりました。

トピックス：産業機械他部門

ギガフォトン本社新社屋が完成

2017年7月、半導体リソグラフィ光源メーカーであるギガフォトン(株)(栃木県小山市)の本社新社屋が完成しました。

近年ギガフォトンは、レーザー稼働時のランニングコストと環境負荷の低減を実現する取り組み(グリーンイノベーション活動)を通じお客さまの支持を得たことで市場シェアが拡大、急速に売上を伸ばす一方で、新ビジネスを始動させています。それを受け新社屋では、生産・倉庫スペース、生産能力ともに拡大させました。ギガフォトンは今後もお客さまのニーズに更に応え、ともに成長していく企業として、邁進していきます。



ギガフォトン本社新社屋

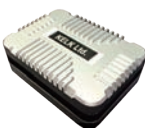
新開発の熱電発電応用製品を発売

コマツグループの(株)KELKは、2017年6月から3種類の熱電発電応用製品の製造・販売を開始しました。既存商品の熱電発電素子を用途や熱源に応じてユニット化することで利便性を高め、より多くの場面・環境で、より多くのお客さまの熱電変換ニーズに応えることが可能です。またコマツの建設・鉱山機械への活用も見込んでいます。

KELKでは、今後も排熱を電気に変える革新的な製品の開発・導入を進め、省エネルギー社会やスマート社会の構築に貢献していきます。

新発売の熱電発電応用製品

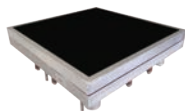
熱電EHデバイス：
設置先機械が発する熱で発電してセンサーと無線発信機を稼働させ、その場の状態をモニタリングできます。



熱電発電自立電源ユニット：
炎などの熱で発電し、携帯電話やモバイル機器の充電が可能。



熱電発電排熱回収ユニット：工場や焼却炉などの産業排熱で発電し省エネルギー・CO₂削減に寄与します。



女子柔道部の活動

コマツ女子柔道部、各大会で活躍

2017年6月に富山県で行われた全日本実業柔道団体対抗大会において、コマツ女子柔道部は4チームによるリーグ戦を2勝0敗1分とし、3年ぶり11度目の優勝となりました。

また8月から9月にかけてハンガリー・ブダペストにて開催された「2017年ブダペスト世界柔道選手権大会」では、団体戦

に57kg級の宇高 菜絵選手と芳田 司選手が出場し、金メダルを獲得。個人戦では57kg級の芳田 司選手が銀メダル、78kg級の佐藤 瑠香選手は5位となりました。

皆さまのご声援、ありがとうございました。



全日本実業柔道団体対抗大会(富山県)

CSR活動のご紹介

カミンズ社と協業して地域人材育成を進めています

米国のディーゼルエンジンメーカー「カミンズ社」とコマツは、長年エンジン事業のパートナーとして強い信頼関係を築いてきました。両社はそれぞれ社会貢献活動として地域社会での人材育成支援に注力



両社が支援する職業訓練校で学ぶ学生(ペルー)。機械に関する知識・経験を得ることにより、地域産業の振興や、就労機会の拡大が図られます。

しており、2016年、この分野での協業契約を締結しました。以来、両社は連携して世界各地での人材育成支援に取り組んでいます。2017年は5地域でコマツ・カミンズ協業プログラムを展開する計画です。

株主さまを対象とした 見学会のご案内

株主の皆さまに当社へのご理解を一層深めていただけるよう、工場見学会を開催いたします。この機会にぜひご応募ください。



大阪工場：組立ライン見学



茨城工場：デモンストレーション

工場見学会

対象者

- 2017年9月末現在、当社株式100株以上を保有の株主さま。
- より多くの株主さまにご見学いただくため、**ご参加は株主さまご本人のみ**とさせていただきます。

コース番号	開催場所	日時	定員	概要
1	大阪工場	2018年2月28日(水) 13:30より約3時間	40名	所在地 : 大阪府 <small>ひらかた</small> 枚方市 最寄駅 : 京阪電鉄 枚方市駅 生産品目 : 中・大型油圧ショベル、大型ブルドーザーなど
2		2018年3月1日(木) 13:30より約3時間	40名	
3	茨城工場	2018年3月6日(火) 13:30より約3時間	60名	所在地 : 茨城県 ひたちなか市 最寄駅 : JR常磐線 勝田駅 生産品目 : 大型ダンプトラック、大型ホイールローダーなど
4		2018年3月7日(水) 13:30より約3時間	60名	
5	小山／栃木工場	2018年3月15日(木) 13:30より約3時間	50名	所在地 : 栃木県 小山市 最寄駅 : JR小山駅 生産品目 : 【小山】エンジン、油圧機器、アクスル(車軸) など 【栃木】フォークリフト、ミニショベル、ミニホイールローダーなど
6		2018年3月16日(金) 13:30より約3時間	50名	

工場見学会 はがき記入要領

62円
切手

107-8414

コマツ
広報グループ
行

東京都港区赤坂2-3-6

- ① ご希望のコース番号1～6のうちいずれかひとつをご記入ください
- ② 郵便番号
- ③ ご住所
- ④ 株主さまのお名前(ふりがな)
- ⑤ 性別
- ⑥ ご年齢
- ⑦ 電話番号
- ⑧ 株主番号(同封の「配当金計算書」「配当金領収証」などに記載しております)

参加方法

- **応募方法** 参加を希望される見学会をお選びいただき、はがきに必要事項をご記入の上、ご郵送ください。郵送料につきましては株主さまにてご負担くださいますようお願い申し上げます。
- **参加費** 無料(現地までの往復交通費は株主さまのご負担とさせていただきます。)
- **締切** **2017年12月26日(火)(当日消印有効)**
ご応募が定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。抽選結果は、2018年1月下旬までに応募者全員に郵送にてお知らせいたします。

ご応募に際し当社が取得する個人情報、本見学会のほか、個人を特定できない形式にて、株主さま向けの活動充実のために使用させていただきます。